

専門職大学院評価基準モデルについての論点（案）

専門職大学院の質を維持、向上するための評価基準として、各基準ごとの内容、具体的な視点等をどのように設定することが効果的であると考えられるか。

「基準1 教育目的及び入学者選抜」について

入学者選抜に関し、特に社会人学生に対する配慮など、専門職大学院の評価として留意すべき事項はあるか。

「基準2 教員組織」について

実務家教員の確保状況等、専門職大学院の効果的な教員組織のあり方について、具体的にどのような評価の視点が必要と考えられるか。

専任教員の「数」のみならず「勤務実態」を評価の視点として明示すべきかどうか。

「基準3 教育課程」について

理論と実務の架橋の実質化を促すためにはどのような評価の視点が必要と考えられるか。

学習と教育の内容・量に関する評価の視点をどうするか。

修了要件に占める当該専門科目の必須単位数の設定についてどう考えるか。

「基準4 教育の成果」について

教育の成果の評価に当たり、資格試験、受験資格との関係等をどう考えるか。

入学生に対して身に付けさせた付加価値を評価する場合、具体的にどのような評価の視点が考えられるか。

「基準5 施設・設備等の教育環境」について

「財務」について、どの程度の評価とすることが望ましいか。

基準6は向上・改善の基準なので、基盤としての「財源」との意味で基準5で評価することとしてよいか。

設置基準上、明確な基準がなく、個別の状況に応じて設置認可を行っているような事柄について、どのように評価を行うか。

「その他」

「国際」の視点をどう考えればよいか。(特に、基準3、基準4において)

例えば専任教員の教育歴・実務経験、資格試験と修了要件との関係のほか、どのような数量的な評価基準が考えられるか。

設置認可後の展開状況を重視した、設置目的とその成果に関する評価について、どのような評価が考えられるか。